



©横浜市港北区 ミズキ
VOL.19

港北力 発見★通信

港北区の元気のもと発見!

地域力発見プロジェクト事務局：
港北区地域振興課地域力推進担当 福祉保健課事業企画担当

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町 26-1 Tel.045-540-2247 Fax. 045-540-2245
http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/sinkou/kouhokuryoku/



ひろがる
合言葉は つながる
とどく

「ひっとプラン港北」*で重点取組としている「災害時要援護者支援」では、災害時に適切な支援ができる仕組みをつくと同時に、支援が円滑にできるよう、日常的な見守り活動や顔の見える関係づくりも進めています。地域で様々な取組が行われていますので、いくつかご紹介します。

*区民・関係機関・行政が連携して「誰もが安心して健やかに暮らせるまち港北」を目指す取組です。

新羽地区

要援護者を町ぐるみで把握、支援 ～「にっば 地域見守りカード」～

各町会や民生委員がそれぞれもっていた要援護者の情報を「にっば 地域見守りカード」に統一しました。同じ様式にしたことにより、町内にどのくらいの要援護者がいるのかわかりやすくなりました。

今夏、民生委員が一人暮らし高齢者の訪問を行うのとあわせて町内会役員等と一緒に要援護者全員を訪問し、状況確認を行いました。秋に行う地域防災拠点訓練でカードを使った訓練を検討中です。地域包括支援センター（地域ケアプラザ）とも連携し、見守り・支援活動を進めています。

日吉地区

災害時支援から地域づくりへ ～「防災まち歩き」～

7月3日、日吉地区「防災まち歩き」講演会を開催し、災害時支援から地域づくりの手がかりを見つけるコツとまちの歩き方を学びました。連合町内会を5つの地区にわけ、地区ごとにまち歩きを行っています。

要援護者の家を確認しながら、危険箇所や避難経路を確認し、同時にエレベーターのない高層の建物、AEDの設置場所なども把握していきます。これらの場所を書き込んだマップを作成する地区もあります。

まち歩きをすることでまちの魅力を再発見し、地域づくりにもつなげていきたいと思ひます。



綱島地区

自治会同士の連携と 情報共有

～「災害時要援護者支援連絡会」～

各自治会の代表者が集まり、6月から定期的に「災害時要援護者支援連絡会」を開催しています。これまで民生委員が中心に取り組んできた要援護者の見守り活動を発展させ、今後は自治会役員も一緒に訪問する等、町ぐるみで取り組み、顔の見える関係づくりも進めています。

立地や規模など、状況は様々ですが、自治会ごとに行えることから取組を始められています。

連絡会でお互いの状況を知り、知恵をだしあうことで、連合全体としての取組を拡げていきます。

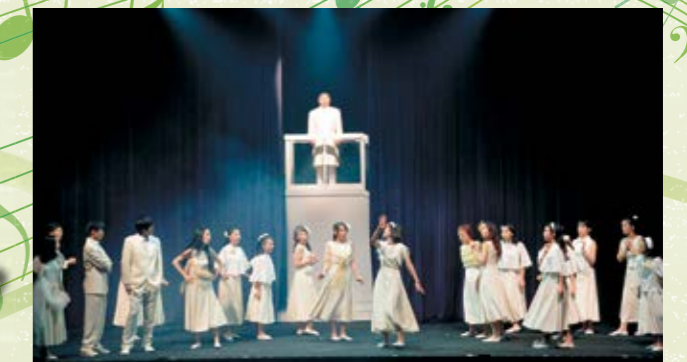


港北区民 ミュージカル

私たち港北区民ミュージカル実行委員会は平成15年4月、青少年育成と港北区の地域文化の活性化を願い結成設立されました。

公募による小学校4年生以上の老若男女が集まり、歌、ダンス、お芝居がミックスされた総合的なステージであるミュージカルの制作を通して、ひとづくりをめざしています。

地域の歴史や話題を題材にすることにより地域に対する愛情が芽生えるような作品作りをしているのが特徴です。そして、将来を担う子どもたちに「生きる力」「チャレンジする勇気と自信」「地域の一員としての自覚」を身につけて



いけるようにしたい。社会人の方には、舞台に立つことにより、新たな自分を発見できるようなと思っています。また、幅広い年齢層の方が参加することにより、異世代間の交流と文化の継承が行なわれる事もねらっています。

さて今年の公演ですが、10月7日(金)～9日(日)まで港北公会堂にて行います。いま、稽古の真っ最中です。9歳から80歳の方まで一緒にお稽古をしています。ほとんどの方がミュージカルは初めて、お芝居も初めての方ばかり、お稽古の積み重ねと出演者の皆さんの頑張りで、区民の皆様「港北区っていいところなんだ!」って思っただけのような作品を作ります。

高田の丘・美化活動推進連絡会

高田の丘一帯は野菜畑が広がる市街化調整区域です。公共施設といえば高田小学校・中学校があるだけで、コンビニも商店もない、まるで信州の田園風景の中に迷い込んだのか?と錯覚する程のどかな区域です。街灯が少ないので不法投棄はもってこいの場所なのか、10数年前は「不法投棄のメッカ」などと揶揄されもしました。子ども達は小中の9年間、雑草の中に捨てられた家電品、古タイヤ、家具、ビニール袋のゴミを見ながら登校することになります。

「こんな状態をなんとかしたい!」といった単純な動機から始めた美化活動が「高田の丘・美化活動推進連絡会」です。通学路に面した畑の地主さん達の協力を得て、夏になると雑草

が生い茂るノリ面を借りて、合計8か所に全長50m、40m、30m、20m規模の大きな花壇を造成しました。その結果、不法投棄はもちろんのこと、ペットのフンさえ激減しました。ツツジ、サツキ、アジサイなどの低木を中心とした花壇には四季の草花も咲きます。花壇には「春夏秋冬花壇」「ツツジ坂花壇」「サツキ坂花壇」「アジサイ通り」「谷戸原花壇」などの名前を付けました。これらの花壇を画廊に見立て、毎年、「花壇 des ござ〜」展(花壇 des ござ ARTS)や「ゴミ de ARTS」展を開催しています。さらに、「ペット写真」展等も開催しています。リハビリ中の高齢者やペットの散歩を楽しむ人たちの姿が多く見られるようになりました。

活動前の様子



夏の雑草がはびこる通学路。雑草の生える場所は不法投棄が絶えないゴミ捨て場と化していました。



一年を通じて楽しめる花壇群

4月〜5月にかけては芝桜、ツツジ、サツキ、6月にはアジサイが満開になる。さらに11月〜12月には菊が咲き乱れる。

ゴミ de ARTS 展



捨てられたアルミ缶やペットボトルを拾い集めて風鈴や風車を製作。子ども達が願いを込めた短冊を吊るした。これら120個程の作品を福島県飯舘村へ届けた。

花壇 des ござ ARTS “かだんでござ〜る”

高田地域ケアプラザ/デイサービス通所者・絵画展
 絵画展示は高田の丘にある花壇4ヶ所でお楽しみいただけます。
 展示期間: 4月3日(日)〜5月15日(日)まで(天候により開催期間に変更あり)
 共同企画: 高田の丘花壇4グループ+地主+高田地域ケアプラザ
 「春花壇冬花壇」「ツツジ花壇」「サツキ花壇」の4花壇は「第4回 港北OPEN GARDEN(主催:港北区役所)」にも参加します。
 期間: [第1回] 4月22日(金)〜24日(日) / [第2回] 5月13日(金)〜15日(日)
 ●花壇に関するお問い合わせ TEL 090-1802-6496
高田の丘美化活動推進連絡会/代表:吉澤

この花壇を主会場として計4箇所の花壇で「花壇 des ござ ARTS 展」を開催しました。



ツツジ、水仙、マリーゴールド、パンジー、金魚草、チューリップ、松葉菊などが次々と咲く。



地主さんの協力を得て皆で作業しました。

子育て支援拠点の2館目がオープン

綱島に港北区地域子育て支援拠点「どろっぶ」のサテライト施設がオープンしました。名称は「どろっぶサテライト」。

地域子育て支援拠点は各区に1か所設置されていますが、乳幼児人口が多い5区については、さらに拠点に準じた機能を持つ地域子育て支援拠点サテライトを平成31年度までに整備する計画となっています。横浜市サテライトの第1号として、3月30日、綱島東小学校に隣接した綱島東3丁目にオープンしました。

地域子育て支援拠点は、就学前の子どもとその保護者や子育て支援の活動に取り組む人などが利用できる施設。子どもとその保護者が遊び、交流するスペースの提供、子育て相談、子育てに関する情報の提供など地域における子育て支援の中核的施設で、利用登録のうえ無料で利用できます。

「どろっぶサテライト」では、初めて出産する方で、仕事等で平日の両親教室に参加できない方々のための「土曜日両親教室」や「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」、パパ達が企画する「どろっぶパパの集い」、ボランティアによる手遊び、演奏、今月の誕生日を迎えたお友達を祝う「おとの時間」など楽しい企画が早くも目白押しです。



港北区地域子育て支援拠点

「どろっぶサテライト」

住所: 〒223-0052 横浜市港北区綱島東3-1-7
 開館時間: 火曜日〜土曜日 9:30〜16:00
 休館日: 日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
 利用料・登録料: 無料
 アクセス: 東急東横線「綱島駅」から徒歩8分

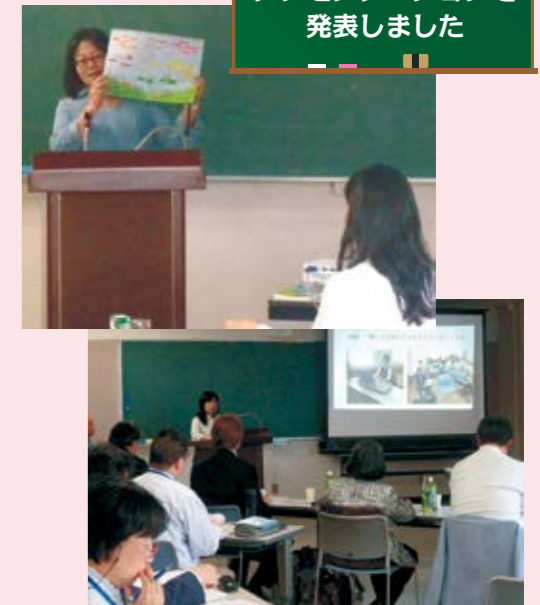
28年度の補助金交付が決定しました

地域のチカラ応援事業では、地域の課題解決や地域住民のために自主的・主体的に行う団体の活動を応援するため事業補助金を交付しています。団体の活動実績や事業内容の違いに応じて、「スタートアップコース」「チャレンジコース」「地域元気づくりコース」が設けられています。

去る4月23日、28年度の補助金選考にあたって行われる公開提案会が開催され、「チャレンジコース」に応募した中から14事業の団体がプレゼンテーションに臨みました。会場には、活動にあたっての助言をしてくれる地域のチカラ応援事業推進懇話会委員をはじめ50人ほどの参加者が詰めかけ、創意工夫のプレゼンテーションと懇話会委員からの質疑応答に聞き入っていました。

交付が決まったのは全部で36事業。スタートアップコース8事業、チャレンジコース23事業、地域元気づくりコース5事業。他に補助金の交付を受けずに、区の「後援」名義を得たいというパートナーシップコースは5事業が承認されました。

思い思いの
 プレゼンテーションを
 発表しました



詳しくは区ホームページに掲載しました。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/sinkou/chikara/>

